

2009年サンクスギビング特別集会

標 語

時代の祈りとは、
キリストのからだとしての召会の祈り、
すなわち、昇天の主であり、からだのかしらである
キリストの権威を行使する祈りであり、
神のエコノミーを成就します。

神は、人の意志が彼に結合し、
彼と一になることを願っています。
それによって、人は祈りの中で神のみこころを言い表し、
神のみこころに呼応して、神を大いに喜ばせます。

主の御名の中で祈るには、
わたしたちが主の中に住み、
主と主の言葉にわたしたちの中に住んでいただき、
それによってわたしたちが実際的に
彼と一になる必要があります。

わたしたちはキリストのからだの肢体として、
キリストのとりなしの務めにおいて彼と協力し、
わたしたちのとりなしの祈りにおいて
彼のとりなしを遂行します。

2009年11月26日—11月29日

サンクスギビング特別集会のメッセージアウトライン

主題：時代の祈り

メッセージ 1

祈りの中心的な目標と時代の祈り

聖書：使徒2:36. エペソ1:19-23. 3:19後半-21. 4:22-24. 5:27.

マタイ16:18-19

- I. 祈りの中心的な目標は、神が栄光の召会を持つことです。この祈りは、時代の務めと時代のビジョンとにしががっています：
- A. 神が一つの時代において行なっている特別な回復と働きとは、その時代の務め、その時代のビジョンを供給する務めです——箴29:18前半。
 - B. 今日、わたしたちが一つ思いであることができるのは、わたしたちがただ一つのビジョン、最新の、すべてを受け継いでいるビジョン、神の永遠のエコノミーのビジョンを持っているからです——使徒26:19. エペソ1:17. 3:9。
 - C. 祈りの中心的な目標は、神の永遠のエコノミーの目標、キリストが栄光の召会を得て、彼の配偶とならせ、彼の満足とならせるという目標です——5:27. ヨハネ17:23. エペソ1:23. 3:19後半-21。
 - D. 大祭司としてのキリストは、わたしたちを顧みており、また神の必要、神の權益、神の目標にしががって、わたしたちのために祈っています：
 - 1. 神に対するわたしたちの祈りが、神のエコノミーにおける目標としてのキリスト、神の王国、神の家に向かっているとき、神はわたしたちの祈りを聞いてくださいます——列王上8:48. ダニエル6:10。
 - 2. わたしたちがだれのために祈ろうとも、わたしたちの祈りは、神の權益を目的とすべきです。すなわち、地上における神の權益であるキリストと召会を目的として、神のエコノミーを完成すべきです——エペソ5:32. 6:17-18。
 - 3. わたしたちは、自分自身の繁栄のために神を不法に用いるべきではなく、神の心にしががって、また神のエコノミーのために、祈り、生活し、人となるべきです——サムエル上4:3。
- II. わたしたちは、時代の祈りをして神のエコノミーを完成するために、昇天の中に生きている人にならなければなりません：

- A. すべて救われている人は、罪が赦されている人であるだけでなく、また死から生かされていて、神の命を持っている人であるだけでなく、キリストと共に天上に、すなわち、宇宙で最も高い所に座っている人でもあります。こういうわけで、彼は昇天の人です——エペソ2:5-6。
- B. わたしたちが受けたキリストの命は、昇天のものであり、天的なものであり、天から与えられたものです。ですから、いったんわたしたちがこの命を獲得するなら、わたしたちは天と交わりを持ち、天に結合されます——コロサイ3:1-4. ヨハネ1:51. 参照、3:13。
- C. わたしたちの命としてのキリストは、わたしたちを救って一つの地位へともたらし、そこにおいてわたしたちは、彼と共に天上で座っており、神のすべての敵をはるかに超えています。ここにおいて、わたしたちは彼の天的な臨在の天的な雰囲気の中で、天的な性質と特徴を帯びて、天的な民です。
- D. 今日わたしたちは霊の中で、達成された事実を信じることを通して、この実際を認識し経験します——Ⅱコリント4:13. 参照、ヘブル4:2。
- E. わたしたちは、日常生活において昇天の地位を維持し、天の命の中で生きる必要があります。わたしたちは、内なる存在の中で絶えず天に触れ、主の臨在の天的な状況、状態、雰囲気の中に生きる必要があります。人はそれらに触れるとき、天的供給を得ることができます——エペソ4:8. 啓1:20。
- F. 昇天の中に生きることによって、わたしたちは造り変えられて、主の花嫁の軍隊、すなわち、「夜明けの光のように見え、月のように美しく、太陽のように明るく、旗を掲げた軍勢のように恐ろしいもの」のように見える女となります——雅6:10. 参照、創1:16-18。
- G. わたしたちは昇天の人になり、昇天の地位を持たなければなりません。それによってわたしたちは、戦いの祈りと時代の祈り、すなわち、昇天の祈りを持つことができます——エペソ2:6. 6:12. 雅4:6-9. 参照、創3:14. Ⅰコリント15:47-48。
- H. もし、わたしたちが昇天の地位に立つなら、直接、環境に命令し、困難を叱責し、敵のすべてのわざを破壊することができます。
- I. 残念なことに、今日の召会の祈りは、権威の命令があまりにも少ないです。ですから、敵を対処することができません。これが証明していることは、わたしたちの実際の状況が依然として地上にあるのであって、天上になく、昇天の地位になく、昇天の実際がないということです。
- Ⅲ. 時代の祈りとは、キリストのからだとしての召会の祈り、すなわち、昇天

の主であり、からだのかしらであるキリストの権威を行使する祈りであり、神のエコノミーを成就します。わたしたちはこのような種類の祈りの中に入るために、天のビジョンを必要とし、わたしたちの天然の観念をはるかに超える事を見る必要があります——エペソ1:17：

- A. わたしたちは、キリストの昇天の意義を見る必要があります：
1. キリストの昇天が示していることは、贖いの働きすべてが完全に達成されたということです——ヘブル1:3, 10:12。
 2. キリストの昇天が示していることは、キリストの主たる身分が確立されたということです——使徒2:36：
 - a. 主が獲得し、到達したあらゆる事は、「召会に」伝達されつつあります——エペソ1:19-23, 3:20。
 - b. わたしたちが見る必要のある天的事実とは、キリストが神によって高く上げられ、宇宙の主として立てられ、万物の上にかしらとして召会に与えられたということです。万物は彼の足の下にあります。そして彼が獲得し到達したあらゆる事は、彼のからだである召会に伝達されつつあります——1:22-23。
- B. わたしたちは、キリストのからだとしての召会の地位を見る必要があります。召会はキリストのからだですから、召会の地位は、キリストの地位と全く同じです。からだはかしらと一ですから、からだの地位はかしらの地位と全く同じです——I コリント12:12, 27, エペソ5:30。
- C. わたしたちは、キリストのからだとしての召会の権威を見る必要があります：
1. からだの権威は、からだによって行使されるかしらの権威です。こういうわけで、からだの権威は、かしらの権威です。
 2. わたしたちは、召会、キリストのからだとして、キリストの権威を取って用いる必要があります——マタイ28:18後半-19前半, ルカ10:19。
- D. わたしたちは、キリストのからだとしての召会の祈りを見る必要があります：
1. このような種類の祈りは、個々の信者の祈りではなく、キリストのからだとしての召会の祈りです。肉体的には、わたしたちは自分の部屋の中で、一人で祈っているかもしれませんが、霊的には、わたしたちはからだと一です。
 2. このような種類の祈りの中で、わたしたちは主に、わたしたちのために何かを行なっていただくよう請うのではありません。そうではなく、わたしたちは、主が獲得し到達したものを要求するのです：

- a. キリストは、主たる身分と、かしらたる身分を獲得しました。彼は万物の上の主とかしらであり、召会に与えられました。
 - b. キリストは、宇宙で最も高い所に到達しました。彼は、死人の中から復活し、天上で神の右に座しており、宇宙におけるすべての支配、権威、力、主権を超えて、はるかに高くされました——エペソ 1:20-21。
3. わたしたちは、主が昇天において獲得したものにしがって祈るとき、次のように祈ることができます、「主よ、わたしたちは現在の状況に同意しません。わたしたちはあなたのからだとして、あなたの昇天の立場を取り、現在の状況に対してあなたの主たる身分を要求します」。
 4. わたしたちは、主が昇天において到達されたものにしがって祈るとき、わたしたちがだれであるか、わたしたちがどこにいるかを、ただ宣言すべきです。わたしたちはからだの中におり、からだはかしらの中にあり、かしらは超越しています。もしわたしたちが、わたしたちがかしらのからだであり、かしらが今や超越しているというビジョンを持っているなら、わたしたちはこの立場を取って、主が到達したものを要求し、すべての消極的な事物に次のように告げるでしょう、「わたしを煩わせてはいけない。火の池に行け！ わたしは超越している。おまえはわたしに触れることはできない。おまえはわたしの足の下にいる」。
 5. からだは天上のかしらと一ですから、からだは、天上においてすでに縛られたり解かれたりしているものを、縛ったり解いたりする権威を持っています——マタイ 16:19. 18:18。
 6. 召会は、岩の上に建造されます。この岩は、昇天のキリストです。その結果、ハデス [陰府] の門も、召会に勝つことはできません——16:18。
- E. このような種類の祈りの中へと完全に入り込み、かしらによってからだに与えられた権威を行使することができるようになるためには、わたしたちが認識しなければならない二つの事があります：
1. わたしたちは、わたしたちがからだの肢体であることを認識しなければなりません。またわたしたちは、からだの中で生活し、活動し、行動しなければなりません。
 2. わたしたちの日常生活の中で、わたしたちは常に古い人を脱ぎ、わたしたちの思いの霊の中で新しくされることによって新しい人を着なければなりません。新しい人は、からだと共にあるかしら、すなわち、

召会と共にあるキリストから成っています——エペソ4:22-24.
2:15-16。

- F. 「わたしたちは昇天したキリストのビジョンを見て、権威の祈りをする
ことを学ぶ必要があります。二千年間、これらの事柄は軽視されてきま
した。しかし、この最後の時代に、主はそれらを回復しようとしておら
れることを、わたしたちは信じます。あまりにも多くのとき、わたした
ちはキリストの昇天の立場を取らず、彼が獲得し、到達されたものを要
求しません。それにもかかわらず、主はこの失われた立場を回復される
と、わたしたちは信じます。これは、良き地の最高峰、最も高い山です。
この最後の時代に、主はこの最高峰、この最も高い山を回復されます。
わたしたちはこの事実を認識し、この立場を取り、かしらが獲得し、到
達されたものを要求しなければなりません。これが、召会の勝利を得る
祈りです。これが時代の祈りです。（ウイットネス・リー全集、1963年、
第1巻(上)、251ページ）